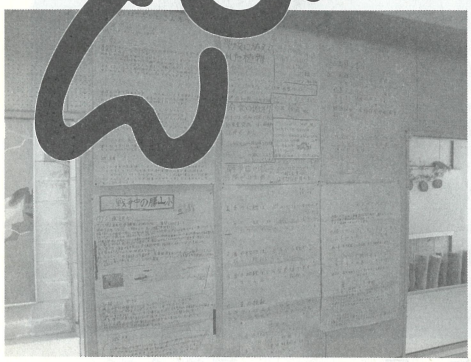
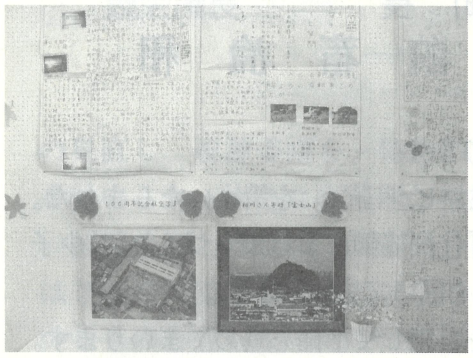
きょなん

町報　第450号
発行：鋸　南　町
編集：総務企画課
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111㈹
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

1
2006











勝山小学校100周年　～時を紡いだ子どもたちの旅～

勝山小学校は、明治38年7月、下佐久間尋常小学校・加知山尋常小学校・勝山高等小学校の3校が統合され勝山尋常高等小学校として改称し、現在地に移ってから、今年で100周年を迎えます。これを機会に勝山小学校の歴史を振り返り、先人への感謝の気持ちや愛校心を高め、勝山小学校の更なる発展を祈念して100周年記念式典が行われました。式典は100年の歴史を振り返る旅に出た子どもたちが、昔の遊びや校歌を再現。参加したＯＢの方々も童心に返る思い出の一日となりました。

めでとうございます

『希望と活気あふれる豊かな町づくり』



町　長
白　石　治　和

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかに初春をお迎えのことと、こころからお慶び申し上げます。

予想以上に長引く不況の影響等で非常に厳しい社会経済情勢の中にあって、昨年は、幾多の事業を推進することができました。これもひとえに町民の皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

今、三位一体の改革が進められ、真の地方自治確立に向けた、本格的な地方分権時代の到来を迎え、地方においては、自らの役割と責任の下での自主性・自律性を高めた、個性と魅力ある市町村経営能力が求められる中、私は、鋸南町の発展のため、町民と行政が共に汗を流すことにより、希望と活気にあふれ、いつまでも安心して住み続けることができる、まちづくりを目指してまいります。

そのために、昨年は自律（立）に向けた将来ビジョン「鋸南町自律（立）ビジョン」を策定いたしました。今年は、そこで掲げた４つの重点施策「地域活力の振興と交流人口の増」「住民協働によるまちづくり」「少子高齢化・定住化促進対策」「徹底した行財政改革と機構改革」の着実な推進を図ってまいります。

特に、当面の懸案事項である勝山小学校の建設は平成19年度早期着工を目指して準備を進めてまいります。更に、農林業と観光が連携した産業おこしを進め、そして、エコガーデン（まちぐるみ公園化）構想を進めて交流人口の増加を図り、開かれた町政、健康で暮らせるまちづくりの推進、行財政改革の推進など、各般の行政分野にわたる事務事業を計画的、効率的に実行に移し、力強くまちづくりに取り組んでいきます。

自然環境に恵まれ、歴史ある私たちのまちを、さらに未来に向けて発展させ誰もが暮らしやすい、町民一人ひとりが心豊かに生活でき、この町に住んでいて本当によかったと実感できる「町民が誇れる鋸南町」を、町民の皆様と力を合せ、ともに築いてまいりたいと思います。

町民の皆様には、町政へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の、ますますのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

今年は戌年

今年の干支は戌――戌は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。もともと、野性のオオカミやジャッカルを飼い馴らしたのが、人間とパートナーを組む始まりとなったようです。

犬の嗅覚は人間の百倍、それ以上で、聴覚も人間よりはるかに良いといわれています。視力は近視ですが、動くものには敏感に反応し、方向感覚にも優れています。さらに、リーダーに従う、テリトリー（縄張り）を守るなどの習慣を持っているため、人間の良きパートナーとなりました。



この特徴と習性を生かして、犬は人間社会でさまざまな〝貢献〟をしています。盲導犬や聴導犬、牧羊犬や猟犬、荷物を運んだり車やそりを引いたりする使役犬、番犬や軍用犬、警察犬や救助犬などとしてです。な

新年あけましてお



議会議長
平　島　孝一郎

『夢のある地域を目指して』

新年あけましておめでとうございます。

平成18年の幕明けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、町議会活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

私こと本年5月に再び議長に就任をいたしました。微力ではございますが、住民生活の向上、また議会活動活発化のため専心努力する所存でございます。

さて、昨年は、地方にとって極めて重要な問題が次々と提起された年でした。

国においては、国庫補助金の廃止・縮減、地方交付税の見直し、税源委譲を一体的に実施するという三位一体改革推進から、町村財政は大変厳しい状況を強いられ、大きな変革期、転換期にあります。

地域のことは地域で対応し、その責任を負うという地方分権の時にあって、町議会の果たす役割はきわめて重要となってまいりました。まさに自治能力の向上、地方行政の構造改革が求められているものと思います。

私たち議会も、より良い住民生活発展のため議会の活発化に向けた対応を図り、その役割を果たしてまいりたいと考えております。

本年、三位一体の改革は、第二ステージへとシフトをしてまいります。町はさまざまな選択をせまられ、まさに分水嶺に立っているものと認識をしております。

国の動向、県の動向に乗り遅れることのないようさらなる研鑽をもって望んでまいります。皆様のご協力を申し上げます。

今後とも議会に与えられた権限、権能を最大限生かしながら公平公正に信義に満ちた議会運営に努力をしてまいります。

皆様のご多幸と共に世界の平和をお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

かには、闘犬やレース用の犬など娯楽用の犬もいます。最近は麻薬を探知する麻薬犬として活躍している犬もいます。

一般の人に身近なのは、愛玩犬です。犬の種類は四百種類以上あるといわれています。手のひらに乗るようなチワワから、体重百キロを超すセントバーナードまで、大きさも姿もいろいろです。

最近は、都会では屋外で犬を飼いにくいこともあって、室内で飼うことが多くなってきました。そして、過密な都会での犬の飼い方をめぐって、近隣公害が問題になっています。おりやさくに閉じ込めることなく、人間と行動をともにし、助け合って生きてきた時代からみると、犬にとっても住みにくい世の中となりました。

ところで、正月の遊びにつきものの〝犬棒カルタ〟――あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思いますか。本来は「出歩けば災難に遭う」ということです。しかし最近は、歩き回ればチャンスに会えると解釈する人が多いとか……いづれにしても、今年はいいチャンスをつかみたいですね。

きょなんフォトニュース

「花 一期一会 秋山庄太郎写真展」開催

菱川師宣記念館では、12月21日から3月21日まで、「花一期一会　秋山庄太郎写真展」を開催します。

秋山庄太郎は、1920年（大正9年）6月8日、東京神田生まれ。中学時代より写真を始め、早稲田大学卒業後、近代映画社に入社し、4年間、グラビアページを担当後、1951年（昭和26年）フリーの写真家になりました。女性ポートレートが高く評価され、週刊誌の表紙などの分野で活躍。65年頃から、ライフワークとして花の写真に取り組み、写真家として常に第一線で活躍しつつ、2003年（平成15年）1月16日、銀座の写真審査会場で倒れ、急逝。享年83歳でした。

この展覧会は、秋山庄太郎の写真家としての足跡をたどることを基本におき、少年時代のスナップ、パリ滞在期の芸術家らのスナップ、女優原節子や宝塚歌劇団の女優たちのポートレート、ライフワークとなったさまざまな花の写真などを紹介します。花に魅せられた彼が、スタジオで、野山で、華麗で繊細ながらも凛として咲く花たちの一瞬をとらえた写真作品が多数展示されます。



鋸南町勝山は、いわば秋山庄太郎の第二の故郷でもあります。彼の父が、勝山の秋山家の出であり、少年時代の彼は、この地によく避暑に訪れました。今回、彼が少年時代に勝山海岸で撮影した貴重な写真も初公開します。南房総が花々でもっとも彩り豊かになる春。ゆかりの地で開催される秋山庄太郎写真展で、その写真芸術作品の数々を堪能してください。

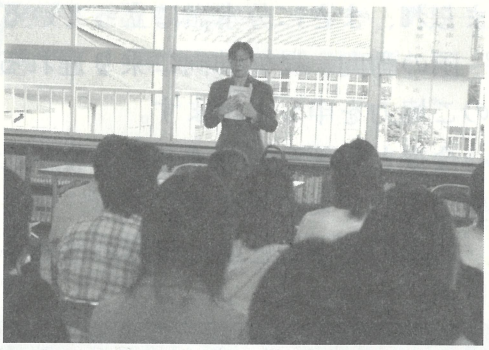
※月曜日、12月29日～1月3日は休館です。

3地区でミニ集会開催



保田・佐久間・勝山の各小学校区で教育を考えるミニ集会が行われました。各小学校の収穫祭と併せて行われ、水稲作りの体験発表や演劇発表、音楽発表などが工夫を凝らしてなされました。また、勝山小学校では創立100周年記念行事とあわせて開催されました。各地区ともＰＴＡ、地域の方の多くの参加がありにぎやかな集会となりました。

それぞれのミニ集会では、保田小が本町上佐久間出身の競輪選手山賀雅仁氏を講師に迎え、「夢舞台の頂点に立つ」と題して自らが選手となるまでを語りました。子どもたちからもいろいろと質問があり、同選手は努力することの大切さを伝えました。佐久間小では保健福祉課　小澤ちのぶ保健師から食育のお話しがあり、子どもの頃からの食生活の大切さをわかりやすく話していただきました。これらのミニ集会を機会にしてより多くの町民の皆様が子どもたちの教育に関心をもっていただけたのではないでしょうか。



りんごの木のオーナー収穫祭
辰野町農協祭
―友好都市・辰野町―

友好都市辰野町でりんごの収穫祭と農協祭が11月12日（土）から13日（日）に開催されました。

今年で15回目を数える「りんごの木のオーナー制」は、鋸南町だけでなく広範囲の方からご注文いただき、鋸南町バスツアーヌは、各自で辰野町に行き、出来の良い大きな蜜の沢山入った赤い「ふじ」を収穫して来ました。各りんご園では、園主手作りの「りんごジュース」「おしんこ」「イノシシ汁」等をご馳走になり、お腹もいっぱいの「りんご狩り」を楽しんでいました。同日に開催された「辰野町農協祭」では、鋸南町から搬入された干物等の水産加工品物の販売が行われ、「海の町、鋸南」の「海の幸」をアピールしました。



つなげよう声のネットワーク

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

声のバトンタッチ（46）

①６年前に家を新築し、快適な暮らしと引き換えにお金がかかり、子ども２人の教育費も先が見えてきたことにより、私も外へ働きに行かなければと、２年前に縫製工場の事務の仕事に就きました。

仕事も家事も半端ではダメと自分に言い聞かせ、日々忙しくしています。

私の趣味はメダカの飼育です。ずーっと観ているだけで癒されていく私がいるのが分かります。

②仕事の出張で東京に行ってきました。パートでも頑張れば色々な経験ができるのだと思いました。

次男が小学校の収穫祭の児童発表でピアノを弾いてくれたこと。（上手だったよ。）

③沼津市より鋸南町に嫁ぎ、19年。

なんて田舎に来てしまったのだろうと思っていました。でも今はこの町の人が好きと言えます。長く住みたくなる様な町づくりを目指してほしいと思います。



髙木　弘美さん（竜島区・パート）

次回は田中　明美さん（田町区）へバトンタッチされます。



中村　巧さん（中佐久間区・大工）

①寒い日も暑い日も、お客様の笑顔を胸に、ゲンノウを握って28年。大工の醍醐味を感じる毎日です。根っからの木工好きが高じて、趣味も日曜大工。子どもたちと古材を選んでは、アレやコレやの一工夫。子どもの発想には驚かされるばかり。「さぁ、何が出来るかな。」

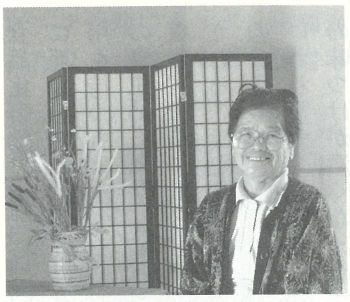
②学校の収穫祭、６年生の息子と餅つき、それを丸める妻と年少の娘。「幸せだなぁ」家族揃っての参加は、今年が最初で最後。息子はこの春、中学生。これまでお世話になった先生方や地域の皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。「ありがとうございます。」

③最近、子どもを狙った犯罪が多発しています。学童保育の定員や外灯を増やしていただけると有難いです。私たちも道すがら、声を掛け合ったり、ウォーキングや犬の散歩などを通学時間に合わせて行うなど、町全体で鋸南町の子どもたちを守っていきましょう！

次回は加藤　博隆さん（町区）へバトンタッチされます。

見返り美人の里　笑楽の湯

今月のお風呂大好き



寺本志ずさん
「心も体もさっぱり。
ここへ来るのが楽しみです」

毎月26日はお風呂の日。今月は「橙（だいだい）風呂」です。

お正月の縁起物としてお飾りに用いられる「橙」は、日本では料理の食酢として、また漬物の発色の原料としても古くから親しまれてきました。原産地はインドで、12～1月がシーズンです。

「橙（だいだい）」という字は、古くは「代々」を表わし、実が成熟しても落果しにくく、緑色と黄色の新旧代々の果実が同一の樹に見られることに由来していて、親子代々、子孫繁栄にあやかってつけられたようです。

さわやかな香りと酸味の橙は、ビタミンB1、B2、Cなどが含まれていて、食欲不振、消化不良、胃炎、カゼ、肌荒れなどに効果があるといわれています。

寒い季節、「橙（だいだい）風呂」で体の心まで温まってください。

家庭教育通信 すくすく NO.54

『虐待としつけの違い』

最近、新聞やテレビで、幼児虐待のニュースが頻繁に報道されています。今回は、子育てサポーターリーダー養成講座で、保健福祉課　小澤ちのぶ保健師にお話を伺い、勉強しました。

虐待により、幼児死亡が報じられるたびに、「何で・・・」と思わずにはいられません。しかし、犯罪になる身体的虐待ばかりでなく、普段何気ない言葉や態度からも、子どもにとっては、心理的虐待だったり、しつけと思ってしていたことが、しつけを通り越して、虐待になることだったりと、日々の生活の中でも考えさせられることがあります。

○しつけ?それとも虐待?
「しつけ」と「虐待」は違います。

育児の負担や育児不安から虐待になり、深刻な問題になることも少なくありません。どうして親は虐待してしまうのでしょうか。子どもは、言っても分からないから、体罰でしつけていると言う人がいます。しかし、体罰は決してしつけではありません。体罰は、子どもに恐怖心を起こさせるだけです。

しつけとは、子どもが将来、社会の中で生きていく上で、必要なことを身につけていくことです。子どもの心を傷つけたり、健全な成長や発達を損なうような養育は虐待です。

「子どもが言うことをきかない」「親の思い通りにならない」そんなときどうしますか。「しつけ」は子どもにとってプラスになる行為です。親の感情で怒っても子どもにとっては、しつけにはなりません。親に叩かれている子どもは、親が怖い存在になっています。何か困ったことが起きても、親に相談しなくなります。

子どもに「お利口さんだね」とよく言うと思いますが、子どもはいつもお利口ではいられません。

言うことを聞かなかったり、自己中心的に動くのが子どもです。

子どもは、親の思う通りには育ちません。子どもに社会のルールやマナーを知らせ、自分自身をコントロールし、自立して生きていくために必要なことを愛情をもって、教えて（しつけ）いきましょう。

○身体的虐待

殴る。蹴る。溺れさせる。異物を飲ませる。戸外に締め出すなど、身体に外傷が生じたり、生じる恐れのあるもの。

○性的虐待

子どもへの性交。性的行為の強要。性器や性交を見せる。ポルノグラフィーの被写体に子どもを強要する。

○ネグレクト

子どもの意に反して登校させない。家に閉じ込める。病気や怪我をしても病院に連れて行かない。適切な食事を与えない。ひどく不潔なままにしておく。自動車や家の中に置き去りにする。

○心理的虐待

言葉によるおどし。強迫。無視。兄弟間の差別的な扱い。子どもの自尊心を傷つけるような言動など。

しつけや愛のムチといった親側の論理でなく、子どもが苦痛を感じるかどうかを基準とする。

そんなつもりではなかった・・・

でも、子どもにとって有害ならばそれは「虐待」です。

○厳しいしつけ　子どもは虐待と受け取ってしまうことも・・・

愛情をかけたと親が思っても、子どもが納得しなければ、親の独り善がりになってしまいます。

非行の背景の一つとして、親子の認識のずれが上げられます。

幼少時に虐待を受けた子どもは虐待を受けていない子どもに比べて、問題行動を繰り返す傾向があるといいます。

問題行動は、健全に育つことを阻害された子どもたちの悲鳴だと、少年犯罪に関わっている方は言います。子育て中のお父さん、お母さん、今一度子どものしつけについて話合う機会になればと思います。

教育委員会　生涯学習室
（℡五五―二一二〇）

健康通信

「味覚障害」

味には、甘味・塩味・酸味苦味・うま味の5種類があります。ひとくちに味覚異常・味覚障害といっても、5種類が一律に低下するとは限りません。

味覚障害に関してもっとも因果関係が明らかになっているのが亜鉛不足です。常に新鮮な味覚を保つため、味覚細胞は10日くらいのサイクルで新しい細胞に生まれ変わっています。この生まれ変わる新陳代謝に必要な「酵素」をつくるのに、亜鉛が必要です。充分な量の亜鉛がないと酵素がはたらかず、そのため新しい細胞はつくられなくなり味蕾は正常に機能しなくなります。ですから健康な味覚を維持するために、亜鉛の含有量の多い食品を含めて、きちんとした食事を取ることが重要です。

亜鉛不足になる原因で最も多いのは薬の副作用によるものです。常用している薬がある場合には注意が必要です。また加工食品に含まれている食品化合物の中にも、同じ様に亜鉛を体外へ排泄させる作用を持つものがあるので日常の食生活も気を配りましょう。なお、舌炎があると特に障害されるのは塩味の味覚で、このとき酸味と混同しやすいといわれます。家族から「料理の味つけが濃くなった」と指摘されて、味覚障害が判明することもあります。舌炎の原因にはビタミンB群（B2、B6、B12）や亜鉛、鉄分の不足が関係していますから、治療にはそれらの補給を心がけることが重要です。

味覚の異常の疑いがある場合は、耳鼻咽喉科に受診するとよいでしょう。舌や口の中の確認と味覚検査、また味覚障害と関連するほかの病気の有無を確認します。風邪やインフルエンザが原因でおこる味覚障害は、元の病気が回復すれば味覚も元に戻るでしょう。喫煙が原因のこともあるので、喫煙者の味覚障害の場合は禁煙が必要です。味覚異常が長く続く場合は、治りが悪くなりやすいので、早めに受診し、診断治療を受けましょう。

（保健福祉課　健康推進室）

歴史資料館

●連載162

お伊勢参り（1）

おかげ参り大ブーム

江戸時代、庶民が長期間、家を留守にすることは、よほどの理由がない限り、許されませんでした。領主にとって、領民の故郷出奔にもつながりかねないからです。しかし、窮屈な日常から開放される旅は、いつの時代でもあこがれです。

街道が整備され、生活にも余裕が出来、また名所や名物などさまざまな他国の情報が入ってくるようになると、庶民は、旅に出たくてうずうずします。そんな庶民にとって、大手を振って旅立てたのが、伊勢参りでした。

「せめて一生に一度はお伊勢参り」とまで言われた伊勢参りが盛んになった背景に、おかげ参りというブームがあります。伊勢を信仰したために病気が治ったとか、思わぬ幸運に恵まれたとか、そのお礼の参拝から始まって、うわさがうわさを呼び、その利益にあやかろうと、伊勢へ向かう一団ができ、道中を進むにつれ参加者を増やしながら大集団となっていきます。

江戸時代には、このような大規模なおかげ参りブームが、慶安、宝永、明和、文政と、なぜか約六〇年周期で繰り返し起こっています。宝永二年（一七〇五）四月から五月にかけての五十日間に、三六二万人が伊勢に押し寄せ、最高の時は、一日に二三万人と言う信じられない記録があります。文政十三年（一八三〇）には約五〇〇万人。当時の日本の総人口のうち、六人に一人が、この年に伊勢に出かけた計算になります。

伊勢のツアコン御師

伊勢参り流行に一役買ったのが、伊勢の御師という人たちです。もともと伊勢神宮の神官で、貴族が伊勢参拝する時の世話役ですが、江戸時代になると、一般旅行者がだいぶ増えてくるわけで、それらを斡旋する職業御師も大勢出てきます。現代風に言えば、株式会社伊勢観光の営業マン、兼ツアーコンダクターのようなものです。江戸末期には、伊勢の御師の数は約七、八〇〇家あったと言います。

御師には全国にそれぞれ担当地区があり、これを旦那場と言います。安房国は榎倉義太夫と言う御師の旦那場でした。毎年、暮れになると、各地を廻って、大麻という伊勢の御札や伊勢暦を配り、初穂料をもらいます。安房では館山の真倉に神館と称する宿泊所があり、義太夫の手代、出口惣兵衛がやって来て、檀家を廻りました。

御師の重要な目的は、いかに多く信者を獲得して、伊勢にお参りに来てもらうかです。そのため、御師が指導して講を作りました。皆がお金を積み立てて、それが貯まると、クジで代表がお伊勢参りに行けるという方法です。伊勢に来れば、御師は、壮大な邸宅に泊めて、いたれりつくせりで、彼らをもてなすのです。

次回から、元名村名主、岩崎泰輔の手記「伊勢詣」をもとに、当時の伊勢の旅に出かけて見ましょう。（続く）

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］



おかげ参りの図

生涯学習 みんなで学ぼう

「パッチワーク教室」



きめ細かにご指導くださる高松先生

色柄の違う小布をはぎ合わせてできた、様々な模様を作るパッチワーク。その技法を学ぶ「パッチワーク教室」が３ケ月間にわたり開催されました。

講師は館山市在住で文部科学省公認の講師、高松美恵子先生です。パッチワークの他にもリボン刺繍も手がけておられ、やさしく上品な色合いが先生の作品の特徴です。参加者は14名。教室では①ピンクッション②ポーチ③手提げバッグと、難易度の低い順に布を縫い合わせてつなぐ基礎を徐々に学んでいきます。

毎回宿題が出て大変ですが、段々形になっていくのが楽しみのようで、宿題を忘れる人がいないのですから驚きです。一針一針ていねいに取り組んでできた作品。満足げな皆さんの顔、わかりますか？

問い合わせ先　☎５５－４１５１　中央公民館



完成した作品を手に
先生を囲んで

わんぱく登場



華音ちゃん（1歳5か月）

〔齊藤友也さん　第1子　大六〕

一歳二か月にして初海外旅行を経験！行き先はハワイ。そのわけはママが花嫁さんになったから。もちろん私も負けずに？ドレスアップ。お姫様を二人も連れて、一番うれしかったのはパパかも。ママも私もとってもきれいでかわいかったと思います。これからも家族で楽しい思い出を作っていこうね。

桜だより

～苗木への施肥～

桜の成長には、植栽場所の土壌・日当たり・養分等の条件の善し悪しが大きく影響します。従って肥料を与えることも苗木を育てるうえで重要な作業の1つとなります。

桜に肥料を与える時期は、年に2回あります。花の咲く前に与える寒肥と花の咲いた後に与える追肥の2回です。

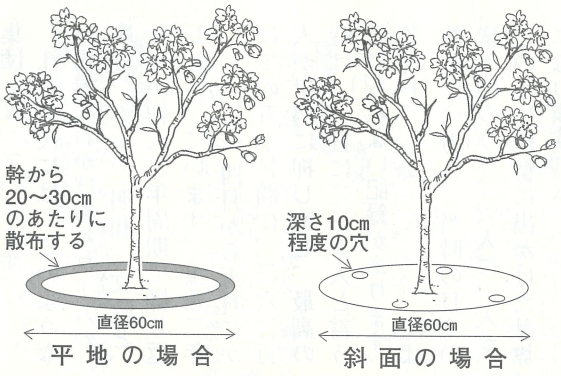
今回は寒肥についてご説明します。寒肥とは、冬場、苗木の根が活動を停止している12月から1月の間、地力の増進と土壌改良、そして春に向かって苗木の成長に備えるための栄養を与えるために行うものです。

町では河津桜の苗木の寒肥用の肥料として、取り扱いが簡単で、土壌改良に良好な有機物を多量に含んでいることから、鋸南地区環境衛生組合が製造している粒状固形肥料を使用しています。

使用方法は、幹から20～30cmの円周上に100g程度ばらまきます。100gはコップ1杯程度の量になります。降雨等で流失しやすい傾斜地では、散布せずに20～30cmのところに深さ10cmほどの穴を4ヶ所掘り、それぞれ25gほどを入れ、埋め戻すとよいでしょう。

またその際に枝の剪定をしてみてはいかがでしょうか。

町報お知らせ版でも掲載したように、12月5日から施肥に協力していただける方に、肥料を配布しましたが、まだ取りにきていない方で必要な方は、役場まで連絡をお願いします。



B&G NEWS

◇温水プール開館時間　10：00～21：00
※12時～13時・17時～18時は休憩
◇休館日　月曜日
◇プール利用料金
（町民）　小中学生 200円・一般 400円
※幼児は無料



≪B&G体験クルーズ参加者募集中！≫

B&G財団では、団体生活において、社会性を習得させ、豊かな人間性を育むことを目的に「体験クルーズ」を実施しています。クルーズを通して海や船について学び、また寄港地ではホエールウォッチング等の自然体験活動を行います。

実施期間　平成18年3月26日～3月31日　5泊6日
対　　象　小学4年生から中学3年生の男女
参加費　80,000円
◇問い合わせ　　鋸南町B&G海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

おめでとう　（11月25日から12月15日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆渡邉　琉貴也（るきや）くん	平成17年11月20日	信　貴・和　代（第1子）	岩井袋	男らしく　元気に 思いやりのある子になってね
☆金澤　真歩（まほ）ちゃん	平成17年11月24日	道　雄・和　枝（第1子）	本　郷	明るく　優しい子に育って下さい
☆柴本　鉄心（てつし）くん	平成17年11月29日	隆　太・舞　子（第2子）	竜　島	健康ですくすく育って下さい

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課　広報係
☎55－4801

人の動き

世帯数　3,743世帯　（－ 5）

人　口	10,061人	（－25）
うち男	4,855人	（－ 4）
女	5,206人	（－21）

12月1日現在　（前月比）

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

笹生　一雄さん（吉浜区）	100,000円	勝山小学校建設基金寄付金
田町青年会	30,000円	勝山小学校建設基金寄付金
高橋史郎・和喜子（鴨川市）	100,000円	勝山小学校建設基金寄付金
明日の鋸南町を考える会	107,918円	勝山小学校建設基金寄付金
大帷子下区	132,750円	勝山小学校建設基金寄付金